

京都大学

北白川試験地で京大ウィークスイベント ー大学キャンパスで虫みっけーを実施

京都大学フィールド科学教育研究センター

北白川試験地は、京都のキャンパス内に位置し、都会の中にある貴重な自然の一片です。地域の人々も散歩に訪れ、日々その自然を楽しんでいます。8月5日(土)には、北白川試験地で京大ウィークスが開催され、施設が一般公開されました。「大学キャンパスで虫みっけ」というテーマのもと、子供たちと一緒に楽しい虫採りが行われました。セミの抜け殻探しでは4種類のセミの抜け殻を見つけ、技術職員の仕掛けたバナナトラップで子供たちはワクワクしながら虫採りに挑戦し、カブトムシやクワガタムシなどを捕まえ、その多様性に驚きと喜びが広がりました。試験地の自然の中での貴重な体験は、子供たちの好奇心を刺激し、自然への理解を深める素晴らしい機会となりました。

このような試験地の価値を高めるために、また、近年ますます増加する学内外からの利用に対応し、試験地の整備を進め、利用者の利便性を向上させる努力をしています。すなわち、他の試験地との連携体制を整えることにも注力し、リソース共有や情報交換を通じて効率的な運用を図っています。利用者の声にも耳を傾け、施設や設備の改善を行う取り組みも行われており、これによってより多くの人々が北白川試験地を利用し、その価値を享受できる環境が整備されつつあります。



写真1：バナナトラップの回収



写真2：セミの抜け殻を選別